

新型コロナウイルス感染対策 改訂 (5類 令和5年5月8日以降)

【厚生労働省勧奨】参考資料

感染症法上の位置づけ変更後の療養について（ポイント）

5月8日以降の取扱

新型コロナウイルス感染症は、他の人にうつすリスクはどれくらいありますか？

- 鼻やのどからのウイルスの排出期間の長さに個人差がありますが、**発症2日前から発症後7～10日間はウイルスを排出している**といわれています。
- 発症後3日間は、感染性のウイルスの平均的な排出量が非常に多く、5日間経過後は大きく減少することから、**特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことに注意**してください。

新型コロナウイルス感染症にかかったら、どのくらいの期間外出を控えればよいのでしょうか？

令和5年5月8日以降、新型コロナ患者は、法律に基づく外出自粛は求められません。外出を控えるかどうかは、個人の判断に委ねられます。その際、以下の情報を参考にしてください。
 周囲の方や事業主におかれども、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします。
 各医療機関や高齢者施設等においては、以下の情報を参考に、新型コロナウイルスに罹患した従事者の就業制限を考慮してください。なお、高齢者施設等については、重症化リスクを有する高齢者が多く生活することも考慮してください。
 また、感染が大きく拡大している場合には、一時的により強いお願いを行うことがあります。

(1) 外出を控えることが推奨される期間

- ・特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことから、発症日を0日目（※1）として**5日間は外出を控えること**（※2）、かつ、
- ・5日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの**症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、外出を控え様子を見ること**が推奨されます。症状が重い場合は、医師に相談してください。

（※1）無症状の場合は検体採取日を0日目とします。

（※2）こうした期間にやむを得ず外出する場合でも、症状がないことを確認し、マスク着用等を徹底してください。

(2) 周囲の方への配慮

- 10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性があることから、不織布マスクを着用したり、高齢者等ハイリスク者と接触は控える等、周囲の方へうつさないよう配慮**しましょう。
- 発症後10日を過ぎても咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、マスクの着用など咳エチケットを心がけましょう。

※ 学校における取扱いについては、文部科学省において/ブリークコメントを実施予定。

5月8日以降の「濃厚接触者」の取扱はどのようになりますか？

令和5年5月8日以降は、5類感染症に移行することから、一般に保健所から新型コロナ患者の「濃厚接触者」として特定されることはありません。また、「濃厚接触者」として法律に基づく外出自粛は求められません。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後の基本的感染対策の考え方について（ポイント）

今後の方針

新型コロナの感染対策は、令和5年5月8日より
 現在の「法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み」から、
 「個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取組をベースとしたもの」に変更されます。

- ①マスク着用の取扱いと同様、主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねることを基本とする。
- ②政府として一律に求めることはなくなり、個人や事業者は自主的な感染対策に取り組む。
 政府は、個人や事業者の判断に資するような情報の提供を行う。

<基本的感染対策に関する変更方針（ポイント）>

	現在	今後（5月8日以降）
新型コロナの感染対策の考え方	・法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み	・個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取組をベースとしたもの
政府の対応と根拠	・新型インフル特措法に基づく基本的対処方針による求め ※「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等	・（基本的対処方針は廃止） ・感染症法に基づく情報提供 ※専門家の提言等も踏まえ、個人や事業者の判断に資するような情報の提供
事業者に関する取組	・事業者による業種別ガイドラインの作成 ・政府による「業種別ガイドラインの見直しのためのポイント」の提示・周知	・（業種別ガイドラインは廃止） ※業界が必要と判断して今後の対策に関する独自の手引き等を作成することは妨げない ・事業者の判断、自主的な取組

徳山病院対策 改訂

※政府の急な感染対策の引き下げでは、現場に混乱と不安を招く恐れがあるため、一時的に下記を定め、今後、社会情勢をみながら段階的に変更を検討していくものとする

次回の改訂検討は、3カ月後の令和5年8月予定

【感染者・濃厚接触者の対応】

	5月8日以降	参考医療機関
感染者	【厚生労働省】推奨	
	5日間は外出を控える	
	5日間の療養後も熱やせきなどの症状が続いた場合は、症状回復から24時間が経過するまで外出自粛を推奨する。	
	【文部科学省】学校保健安全法	
	小中高校などの児童・生徒は原則5日間は出席停止	
	【徳山病院】	
	学校保健安全法にならない、原則5日間は出勤停止 発症を0日として	徳山中央病院 同
濃厚接触者	【厚生労働省】	
	保健所からの特定されず、外出自粛は求められない	
	【徳山病院】	
感染者と以降接触しない場合	出勤当日抗原検査施行 以降健康観察(5～10日間) 特に症状の有無が大切	徳山中央病院 同
	(例) 接触した友人が発症 家族内の感染者を隔離可能	九州大学病院 同
感染者と以降接触	感染者の隔離解除まで休職推奨 出勤当日抗原検査 以降健康観察	
	(例) 家族内の感染者が幼少で隔離困難	

【感染防護対策】

従来通り、二類感染時と同程度感染防護とするが、full PPE の必要性なく、感染者とはサージカルマスクとフェイスシールドとエプロンで対応可能
ただし、吸引などエアゾル発生が予想される場合は N95 着用

【入院時対策】 従来通り、抗原検査か PCR 施行